

事業番号	02 05 08	事業改善シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	鉄道振興対策事業			担当課	部局	企画振興部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	交通政策課	
	施策の総合的展開	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり 1 公共交通網の確保			E-mail	tetsudo@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	S53 ~		

1 事業の概要

目指す姿	地域における鉄道を中心とした地域の活性化のための取組に参画し、鉄道事業者が行う安全性向上や駅舎のバリアフリー化のための設備等の整備に対して支援を行うことにより、地域公共交通の基幹的役割を担う鉄道路線の維持と機能の向上を目指す。 成果目標：鉄道の営業キロ数750.2km(H24) → 780.1km(H29)		
現状	○県民の移動と地域間交流を支える鉄道は、県内交通の幹線として位置付けられている。 ○しかしながら、少子高齢化やモータリゼーションの進展などの影響により旅客輸送人員が減少し、鉄道事業者の自助努力のみでは県内鉄道路線を維持し、駅舎のバリアフリー化など時代の新たな要請に対応してサービス向上を図ることが困難となっている。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 国・沿線市町村と協調し、県が主体的に取り組む必要がある。(地域鉄道安全性向上事業費補助金交付要綱)	
	県民との協働による実施：可能		

事業内容	① 成果目標 (H25)					
	○県内の鉄道路線の営業キロの維持。【成果目標：750.2km】 ○鉄道事故等報告規則第3条に規定する鉄道運転事故で、同規則5条に基づき鉄道事業者から国に報告のあった事故(死亡事故等重大事故)のうち、鉄道施設の老朽化や整備不備により発生した事故0件。 ○県内の鉄道駅におけるエレベーター等のバリアフリー化設備の整備。【成果目標：18駅(H25年度末)】					
	② 事業内容 (単位：千円)					
	項目	実施方法	H25事業実績			
			H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)	
	1. 地域鉄道安全性向上支援事業補助金	補助金	鉄道事業者(JRを除く。)が行う路線の安全性向上のために必要な設備整備に対する補助。 【補助率：国1/3、県1/6、市町村1/6】		122,736	107,589
2. 利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	県内鉄道駅における段差の解消のためのエレベーター又はエスカレーター等の設置に対する補助。 【補助率：国1/3、県1/6、市町村1/6】		0	10,000	0
3. 地域鉄道緊急老朽化対策事業補助金	補助金	緊急経済対策。鉄道事業者(JRを除く。)が実施する老朽化した鉄道施設の補修を支援する事業に対する補助。		0	154,465	0
4. 大糸線利用促進輸送強化期成同盟会負担金	負担金	・要請活動 ・啓発、広報、利用促進活動		150	150	150
5. 中央東線高速化促進広域期成同盟会	負担金	・要請活動 ・啓発、広報、利用促進活動		200	200	200
		合計		123,086	272,404	171,328

事業コスト	区分(単位：千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越	0	0	164,164	0
	当初予算	12,725	78,122	123,086	171,328
	補正予算	47,440	164,164	-14,143	
	合計(A)	60,165	242,286	273,107	171,328
	国庫支出金				
	県債		63,000	120,000	44,000
	その他()				
	一般財源	60,165	179,286	153,107	127,328
	決算額(B)	59,173	76,869	272,404	
概算人員費	職員数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60
概算人員費(C)	4,955	4,955	4,955	4,955	
概算事業費(B(A)+C)	64,128	81,824	277,359	176,283	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26
		目標	成果	達成状況	目標
県内鉄道キロの維持	750.2km	750.2km	750.2km	達成	780.1km
重大事故の発生	0件	0件	0件	達成	0件
エレベーター等設置駅数	17駅	18駅	18駅	達成	18駅

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 沿線住民、市町村、鉄道事業者と協働して利用促進や利便性向上に取り組んでおり、公共交通の基幹である鉄道路線のネットワークは引き続き維持されている。 鉄道事業者が実施する設備整備への支援を行い、鉄道設備に起因する重大事故は発生しなかった。 しなの鉄道坂城駅の跨線橋にエレベーターが設置され、利用者の利便性向上に寄与した。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> 地域鉄道を取り巻く経営環境は極めて厳しい。地域鉄道事業者が行う安全な輸送サービスを継続的に提供していくために必要な設備整備に対して、国や沿線市町と協調しながら引き続き支援することにより、地域の暮らしを支える重要な足である地域鉄道の維持を図っていく。 鉄道沿線の住民や市町村等と協力し、鉄道の利用促進を図っていく。